

# 原発後始末40兆円＝国民一人当たり32万円に！

(池尾伸一・3月1日付東京新聞より)

「福島第一原発をはじめとする廃炉や使用済み燃料再利用など原発の後始末にかかる費用は、本紙が政府推計や予算資料を集計したところ、総額で**最低40兆円、国民1人当たりで32万円**に上る。原発は税金を投入し、電力会社間の競争も長年制限して保護してきた国策産業。だが、いまやこの形が「あだ」となり、事業が難航。税金や電気代上乗せで国民負担が重くなる負の循環に入ろうとしている。」

40兆円とは？…1万円札の束にすると100万円で1cm、1000万円で10cm、1億円で1m。1兆円は、1万mつまり10km、40兆とは400km。東北新幹線だと東京から仙台を越え古川まで(395km)を超える距離です。  
 こんな膨大な額の負担がすでに見込まれているのです！原発を再稼働してこれ以上負担が増えるような危険を犯してはなりません！

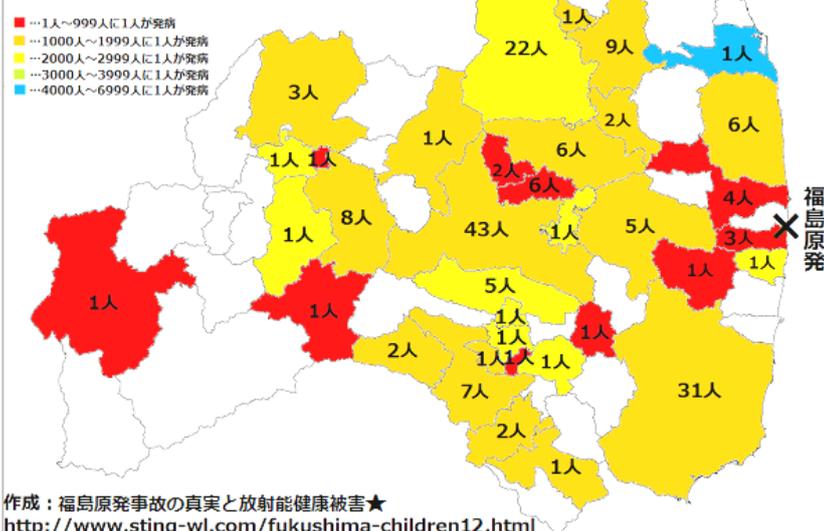
原発処理のための費用		最新
福島第一原発	廃炉	8兆円
	賠償	7.9兆円
	除染	4兆円
	中間貯蔵施設	1.6兆円
	計	21.5兆円 (11兆円から拡大)
予定より廃止を早める 原発の廃炉費	0.2兆円	
その他の廃炉	2.9兆円	
最終処分場	3.7兆円	
もんじゅ・常陽	1.6兆円	
核燃料サイクル	10兆円	
<b>総額</b>	<b>約40兆円</b>	
自治体への補助金	17兆円※	

※ 1974年度から2015年度まで。核燃料サイクル事業費や最終処分の研究開発費など一部は重複する



## 福島小児甲状腺がん184人に！

福島県小児甲状腺がん及び疑い合計184人  
(2016年12月31日現在)



2017年2月20日に公表された最新の福島県民調査報告書によると、福島県の小児甲状腺がん及び疑いの子供達は、3か月前…前回の183人から1人増えて**合計184人**になりました。こんな異常事態でも、国・福島県は原発事故との因果関係を未だに認めていません。健康被害の実態調査・早期治療と、子どもたちの安全な環境への避難が必要です。こんな被害をもたらす原発再稼働などもってのほかです。